2015年8月23日

SIPS　国際／業界横断EDI TF　各位

（株）ワイ・ディ・シー

湊本　智昭

相互運用サブタスク　活動報告

1. 基本方針

・グローバルネットワーク接続に必要な要件を洗い出し、クラウド間での相互運用を可能とする

スペックをまとめる。

・インターネット経路によるEDIの普及に際し、暗号化技術の鍵である証明書の定期的な

　更新など運用管理の課題を洗い出し、最も効果的と思われる対策を提案する。

1. 検討項目

a.クラウド間での相互運用調査

・既存のESP（EDI Service Provider）にて提供されている、契約企業向けの送達状況

通知サービス（実現方法、参照頻度、課題など）を調査する。

・異なるESPと契約する企業同士が、互いのESPを介して送達状況など情報を共有する

方法について検討する。

b.証明書の運用・管理

・証明書交換の運用の具体例を検討し、運用ガイドラインを作成する。

・ESP事業者やインターネットEDIを推進する団体と、課題・運用ガイドラインを共有し

意見交換を実施する。内容によっては実証実験などで運用性を検証する。

1. 活動内容
2. クラウド間での相互運用調査

オージス総研様、富士通FIP様より契約企業向けの送達状況 通知サービス（実現方法、参照頻度、課題など）についてまとめていただき、次回共有。

1. 証明書の運用・管理

産業界としての証明書運用の要求仕様をまとめ、インターネットEDIを推進する団体と

情報提供出来ないか検討中。

1. 中小企業向けのEDIについての検討(ITコーディネータ協会 川内様より頂いたご要望）

安価なEDIサービスを提供するためには、業務フロー・フォーマットが共通化されたシステムでどれだけ多くのユーザを獲得できるかが鍵となる。過去に検討した共通フォーマットにて、現在の業務をEDI化可能な中小企業数の試算を希望。

1. 次回

日時：2016年9月7日（火）13:00～15:00

場所：（株）データ･アプリケーション　A会議室

1. 活動実施状況

日時：2016年8月10日（水）15:00～17:00

場所：（株）データ･アプリケーション　A会議室

参加：（敬称略）

OGIS（永寿、松井）、FIP（江崎、清水、藤本）、CITS（岡崎、花澤）、

NTTデータ技研（遠城）、DAL（藤野、中井、高橋）、YDC（湊本）

以上